

## 2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 3 日作成)

小委員会名	火災安全設計小委員会	主 査 名：大宮喜文 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会	委員長名：山田常圭 主 査 名：
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<p>性能的火災安全設計法に関する技術基盤の整備と普及・啓蒙を行う。</p> <p>2013 年度：「火災安全設計の原則」フォローアップ、性能的火災安全設計の技術基盤として必要な項目の抽出を行う。</p> <p>2014 年度：2013 年度に抽出した項目に関する課題整理</p> <p>2015 年度：建築物の火災安全性能の見せる化に関する検討作業</p> <p>2016 年度：課題解決に向けた検討作業</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：	
	<p>主査：大宮喜文 (東京理科大学)</p> <p>幹事：山口純一 (大林組)、松山 賢 (東京理科大学)</p> <p>委員：原田和典 (京都大学)、野竹宏彰 (清水建設)、萩原一郎 (建築研究所)、北後明彦 (神戸大学)、峯岸良和 (竹中工務店)、中村三智之 (NTT ファシリティーズ)、福井 潔 (日建設計)、山田 茂 (フジタ)、北堀 純 (明野設備研究所)、城 明秀 (竹中工務店)、池田憲一 (東京理科大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>火災荷重・設計火災性状WG 2013/3 に刊行した「火災荷重・設計火災性状指針(案)」について、フォローアップとさらなる検討を行い改訂版発行に向けた予備検討を行う。</p> <p>火災性状予測計算ハンドブックWG 関数電卓による火災性状予測計算 (本会近畿支部資料) をベースとして、設計実務において火災性状予測のために設計者が利用できる冊子を刊行することを目指し、その原稿案を作成する。</p> <p>上階延焼検証WG 建築物の上階延焼に関する知見を収集し、性能評価法や試験法のあり方などについて検討することを目的とする。</p>	
2015 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/bouka/aij_bk/2/aijkassweb/frame4.htm">http://news-sv.aij.or.jp/bouka/aij_bk/2/aijkassweb/frame4.htm</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等)	
大会研究集会	1. 研協「これからの<建築・都市・環境>に対応した新たな区画設計を考える」 資料名：同上 <span style="float: right;">参加者数 80 名</span>
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 「火災安全設計の原則」のフォローアップの方針を検討し活動スケジュールを計画通りとり決めた。</p> <p>2. 性能的火災安全設計の技術基盤として必要な項目の抽出を行い、概要を整理した。</p>
委員会活動の問題点・課題	1. 委員会 HP の充実